

いびき  
ドロップス

と

日本語と社会の構造 ソニピョギョン

# 1. 内と外

内



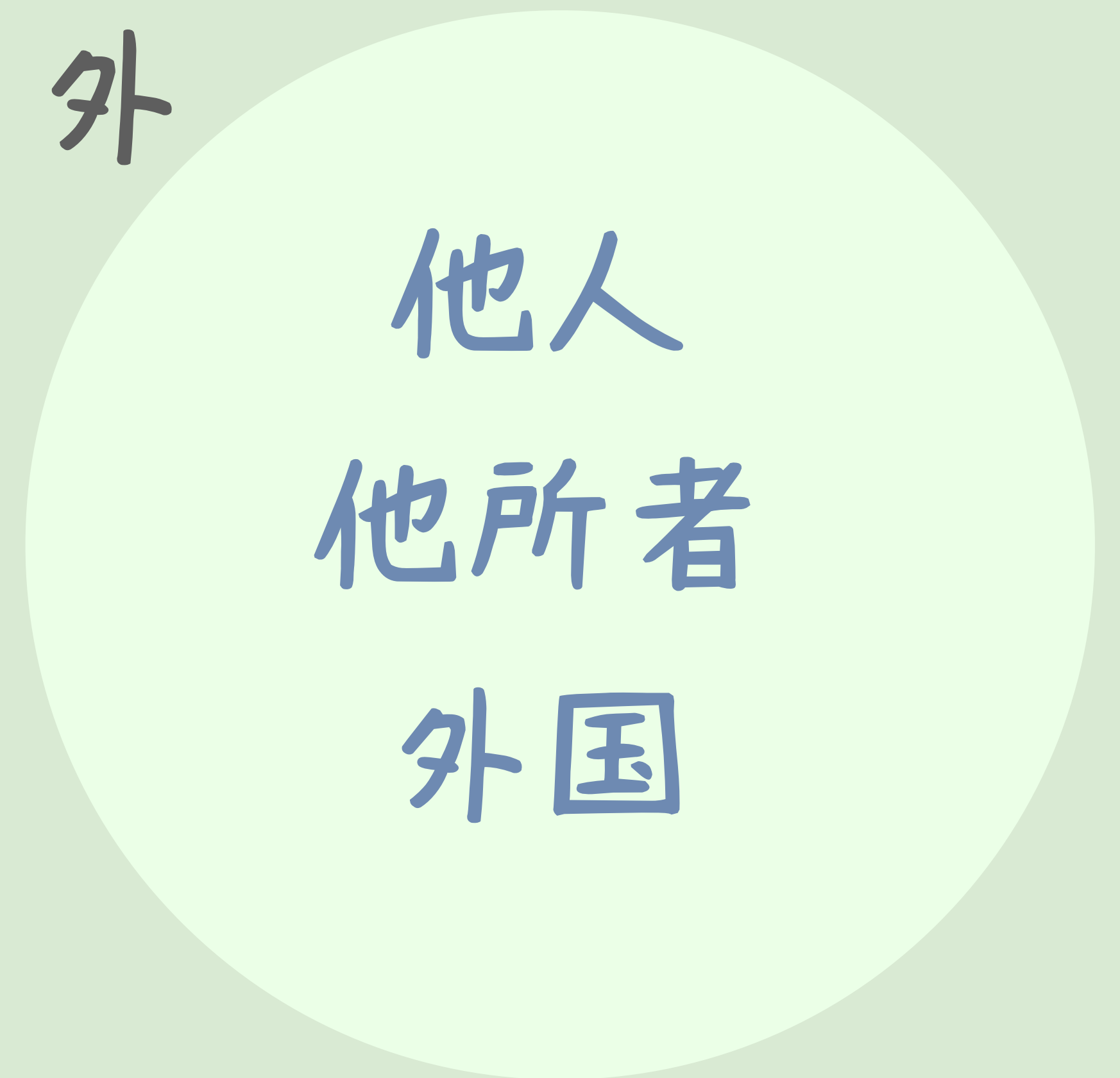
「自分」

身内

うちの人

国内

外



他人

他所者

外国

## 2. 集團主義

= 集團 > 自分

= 協調關係 > 自己主張

伝統、習性が重要

Point 1.

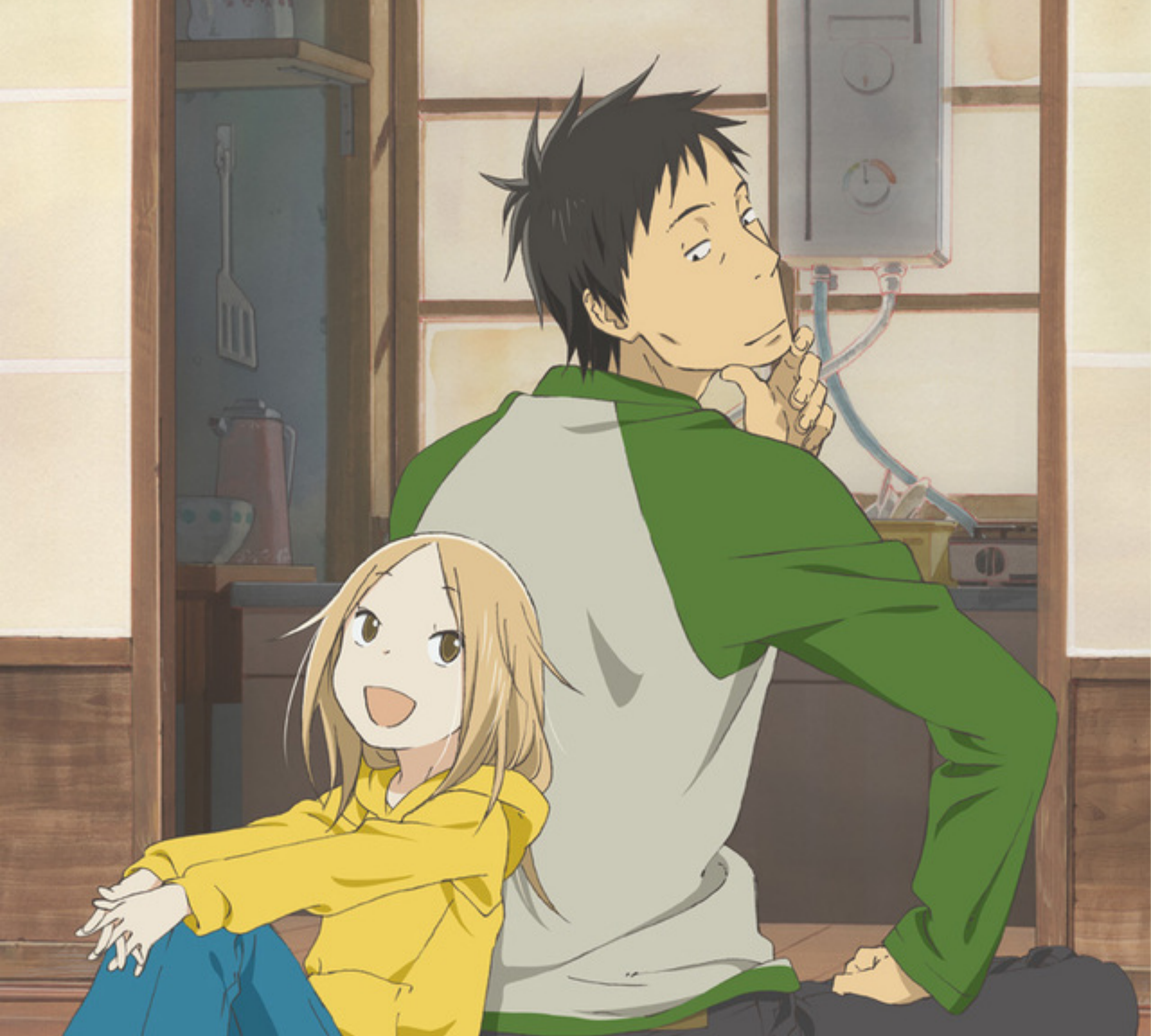
「家族」の重要性



Point 2.

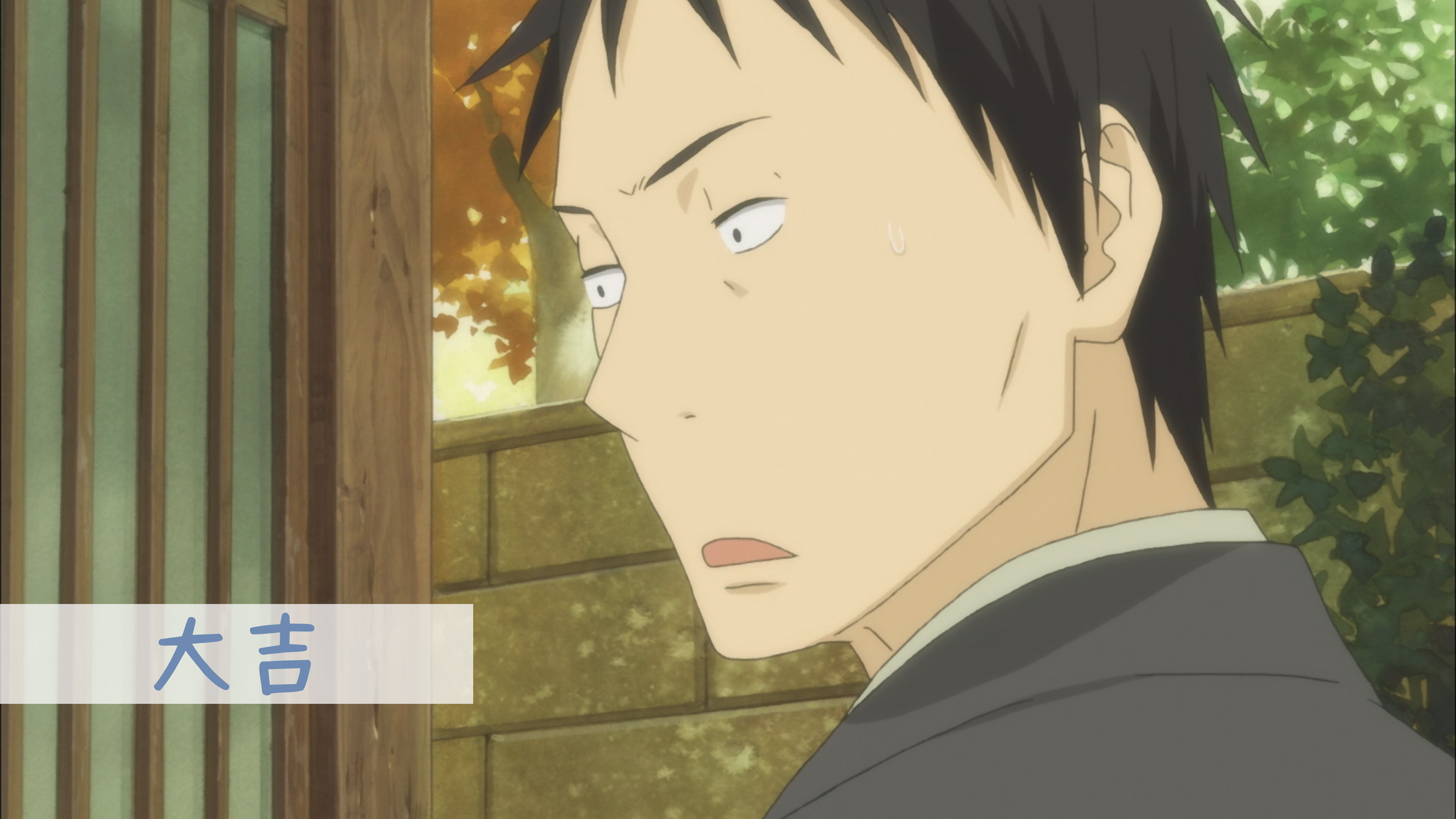
集団への脅威→

- 1。無視する
- 2。取り入れる



「**おどろ**」  
**びや**物  
「**ド**」  
**ロ**  
**ッ**  
**ス**  
「**ス**」



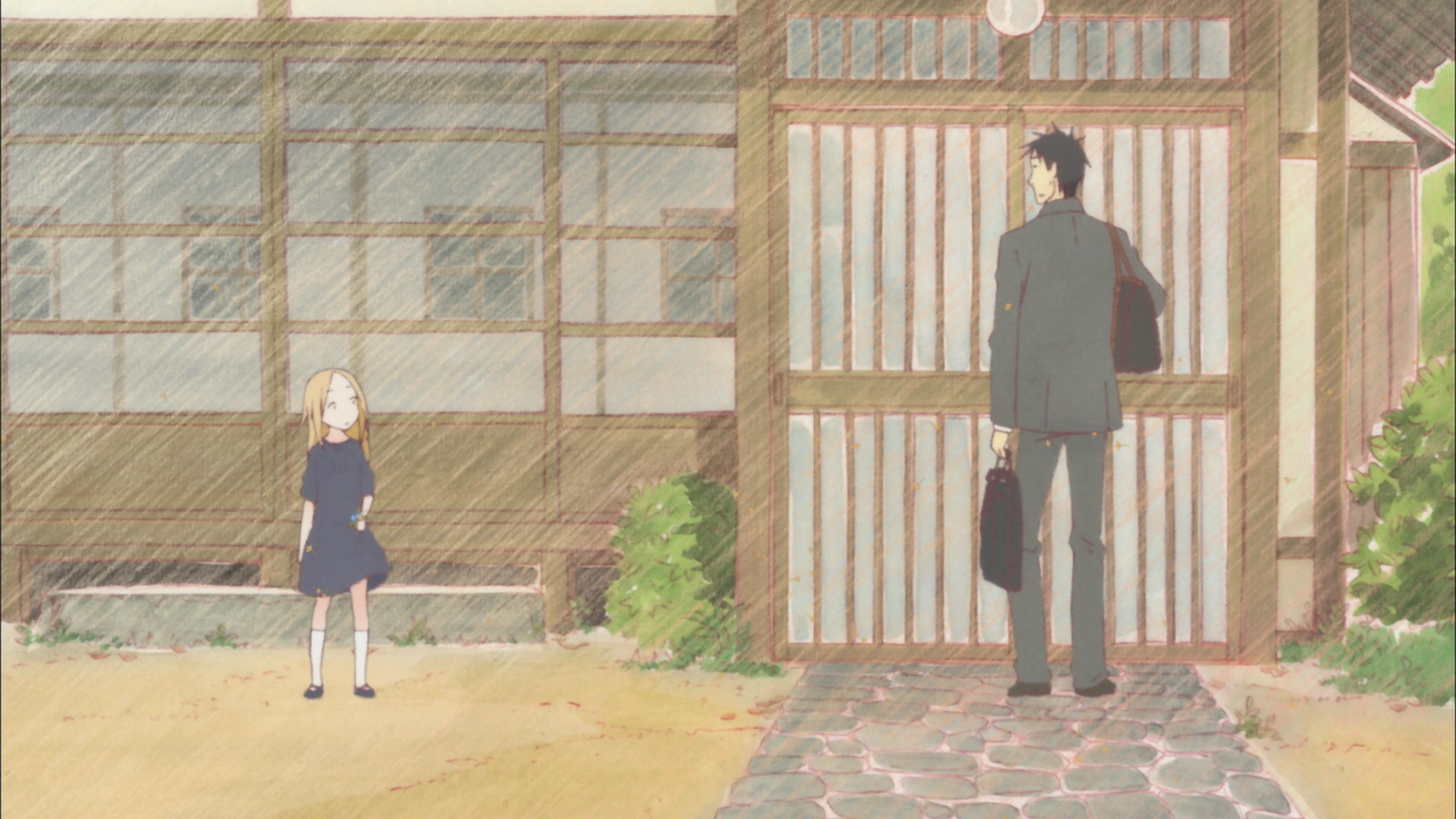


大吉



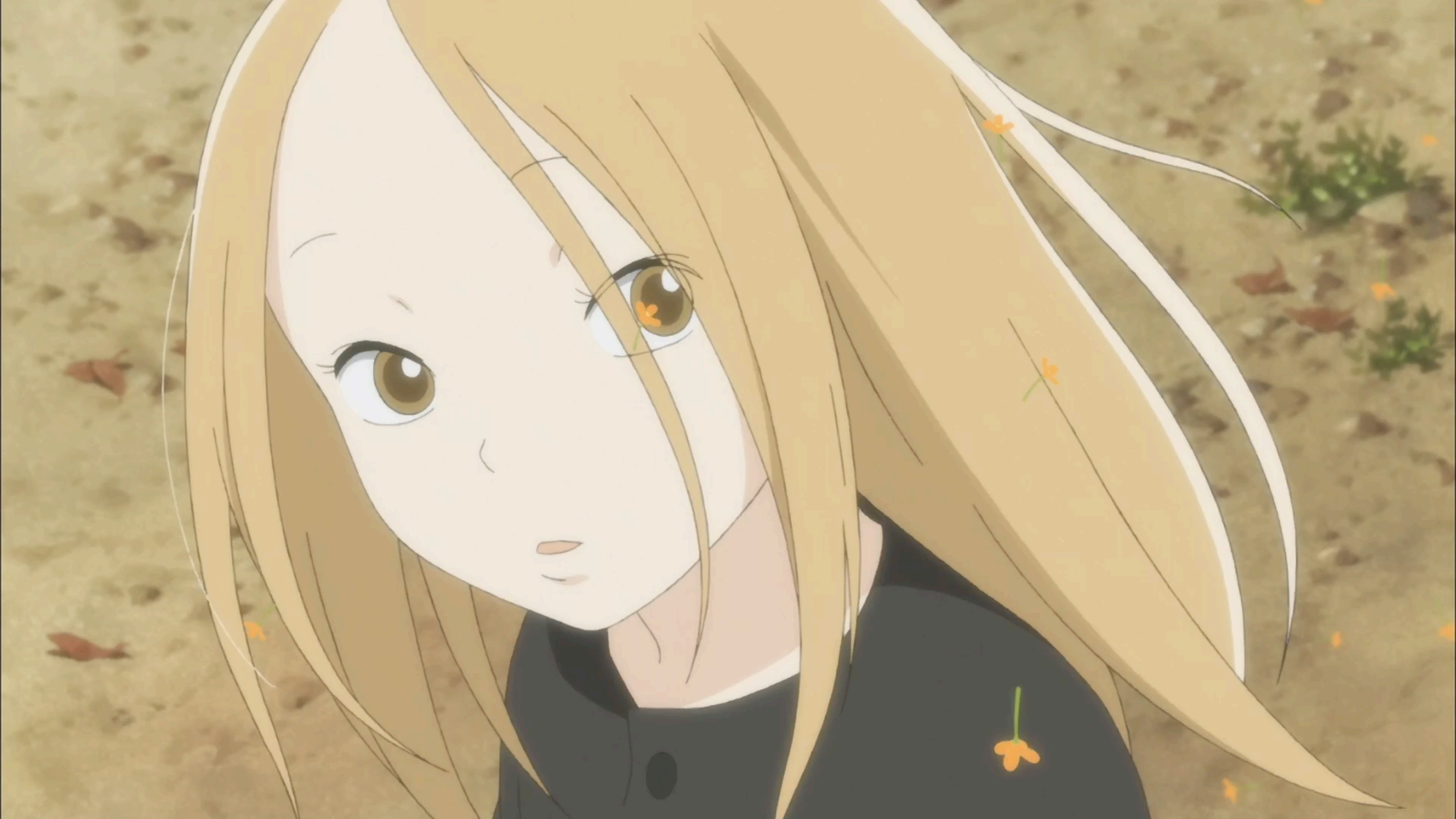


ニニ




1。内と外

Clip 1 (1:20)



Clip 1 (1:20)



「もう、恥ずかしいやら、情けないやら…」

「もう、**恥**ずかしいやら、情けないやら…」

「**恥**」

- 1) 鹿賀家 ⇔ 鹿賀家以外の身内
- 2) 親戚全員 ⇔ 他人



一人の罪 → 家族みんなが背負う  
一人の過ち = 家族の「恥」

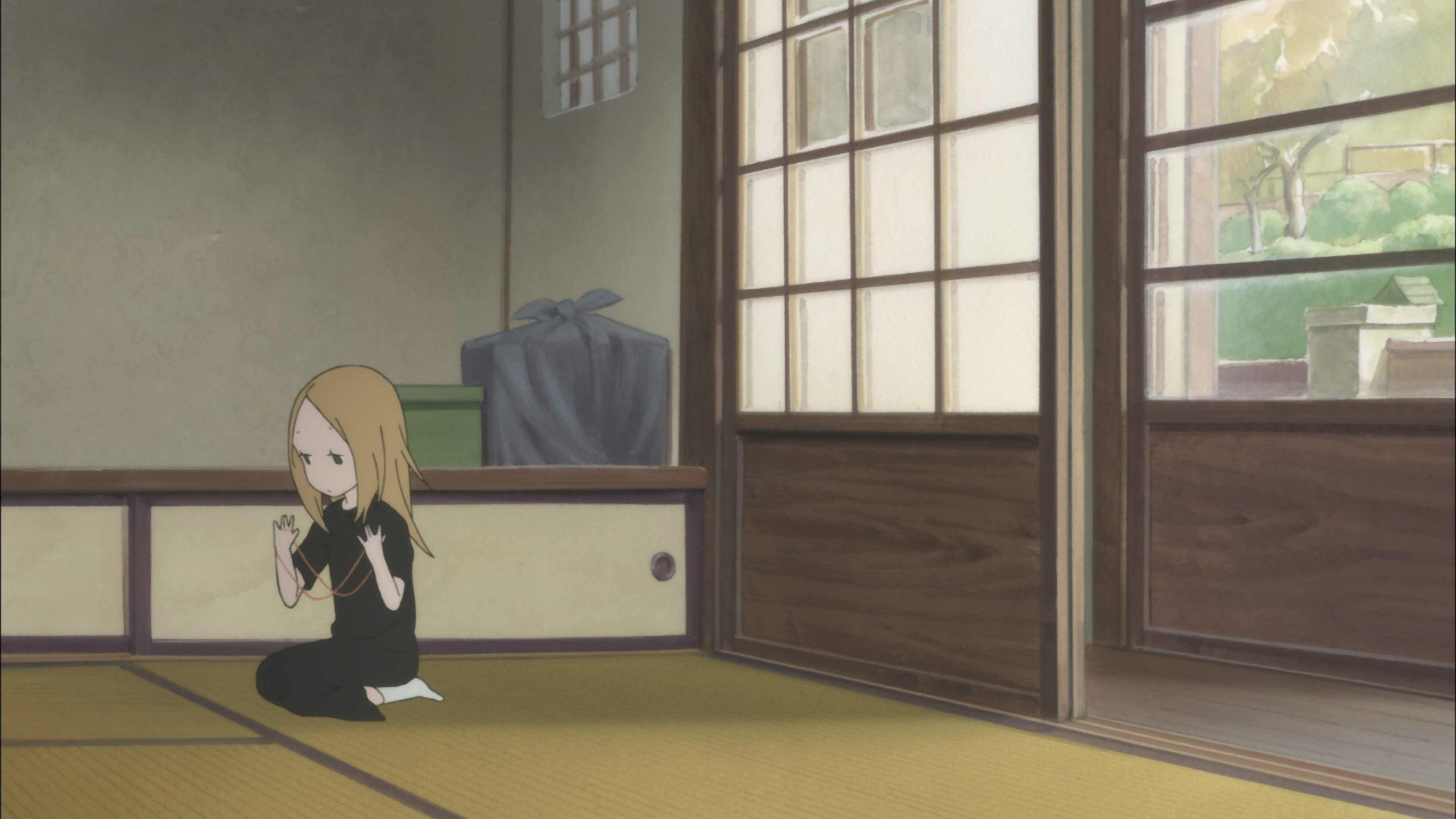


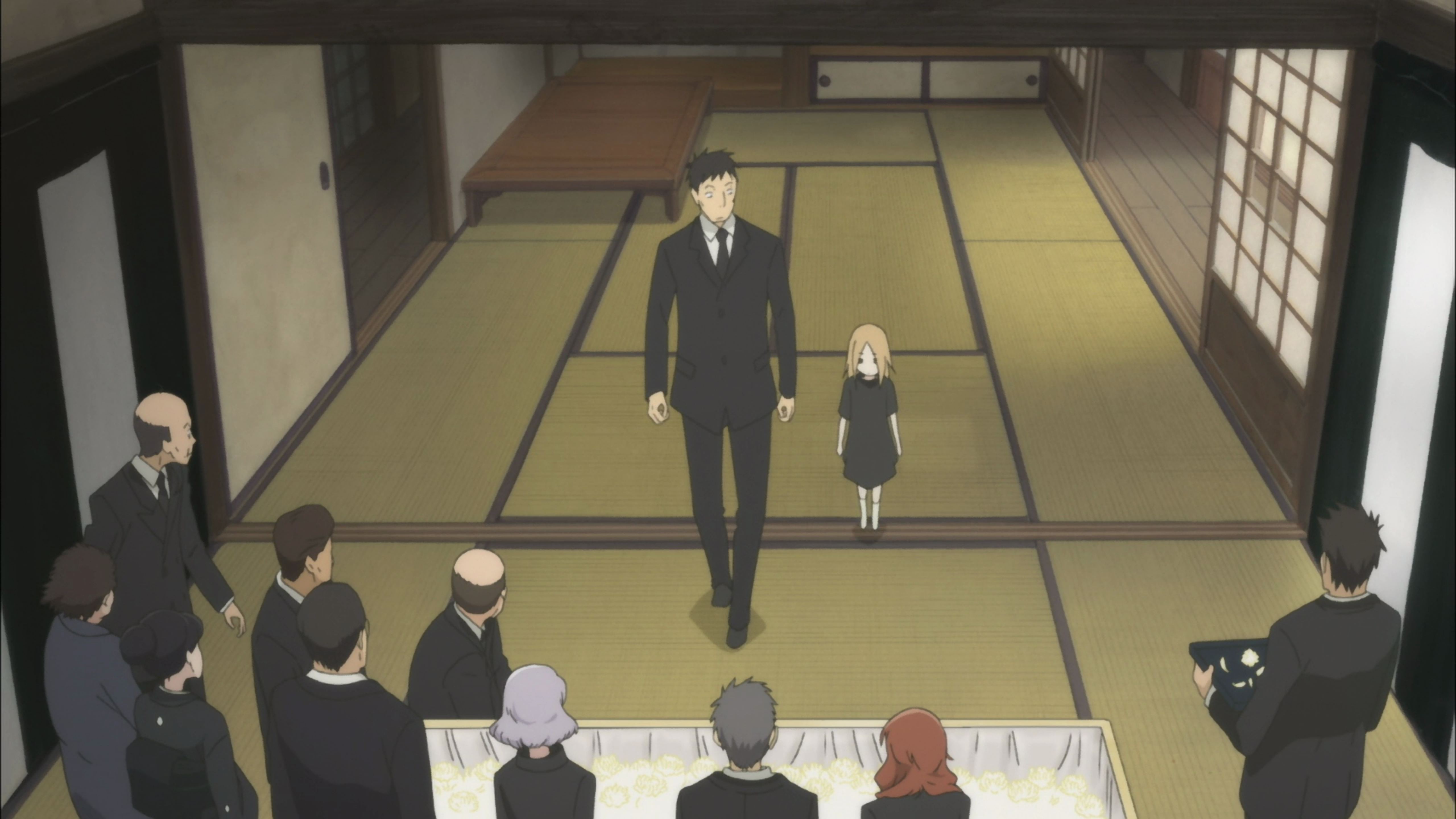
集団意識の表れ

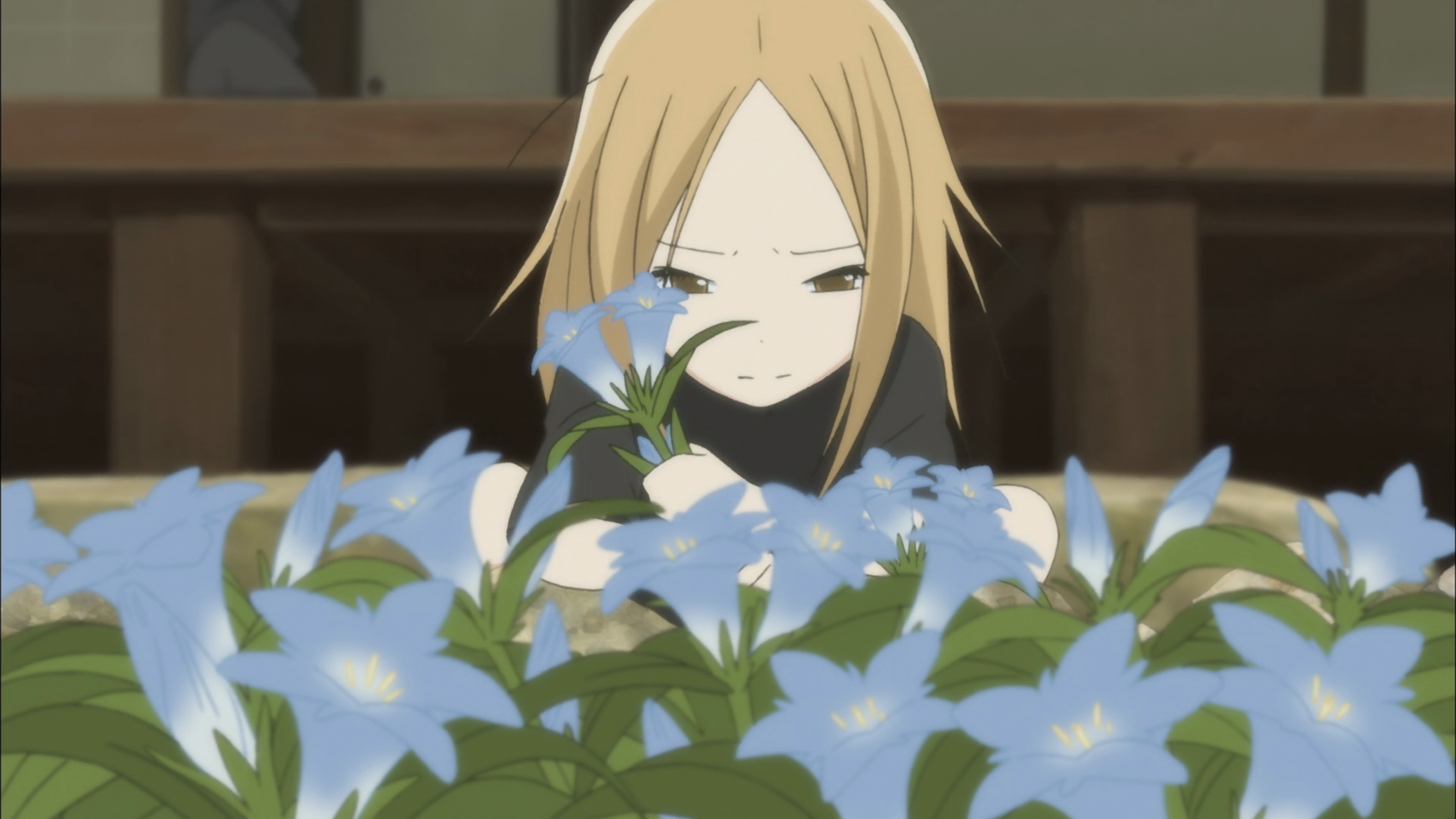
Clip 2 (3:07)

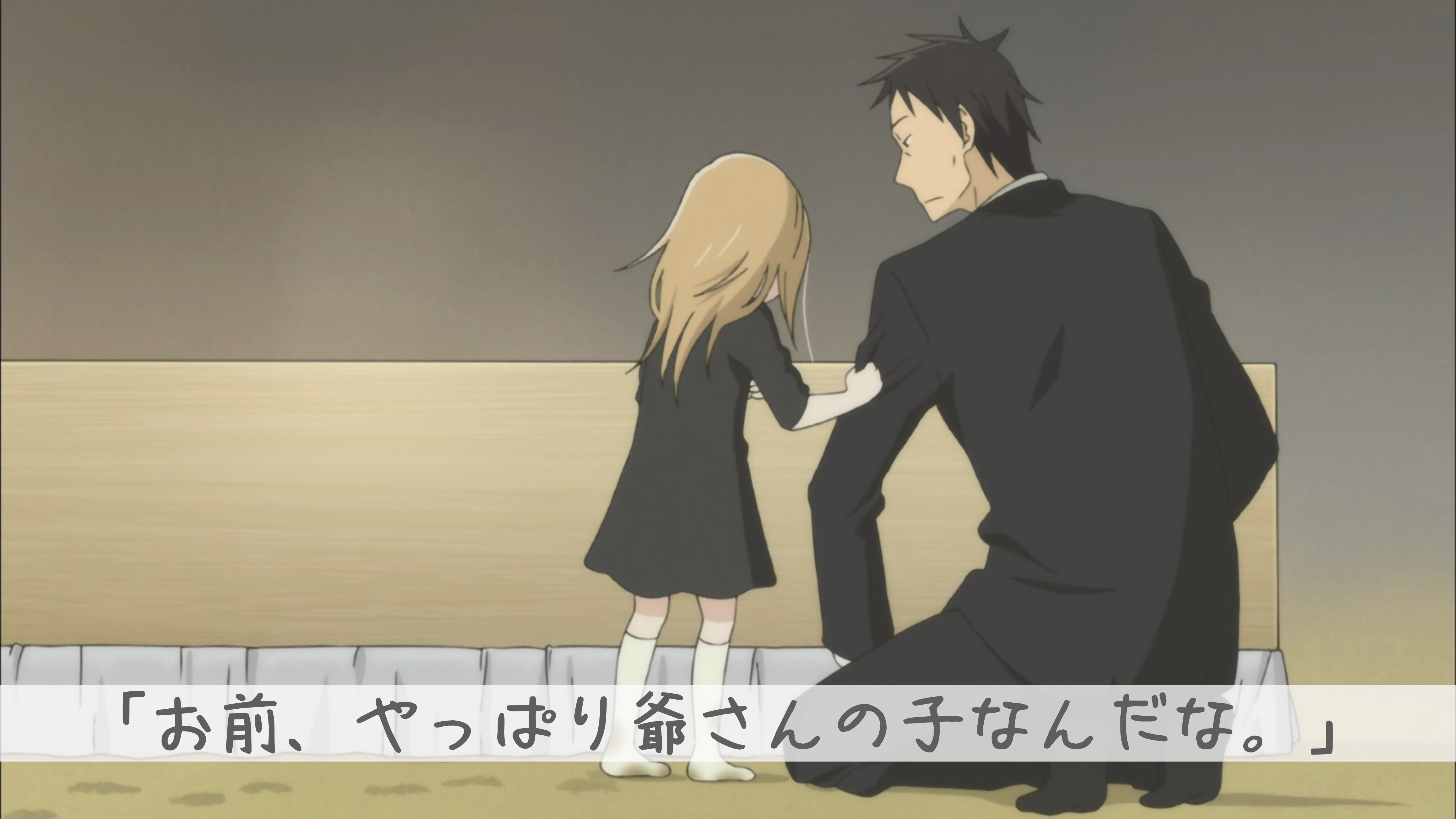


Clip 2 (3:07)







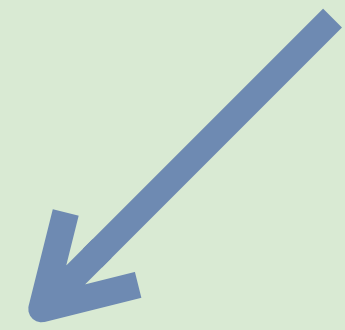


「お前、やっぱり爺さんの子なんだな。」



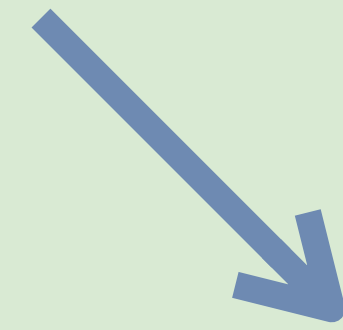
「リンをどう捉えるか」

「リンをどう捉えるか」



無視する (親戚)

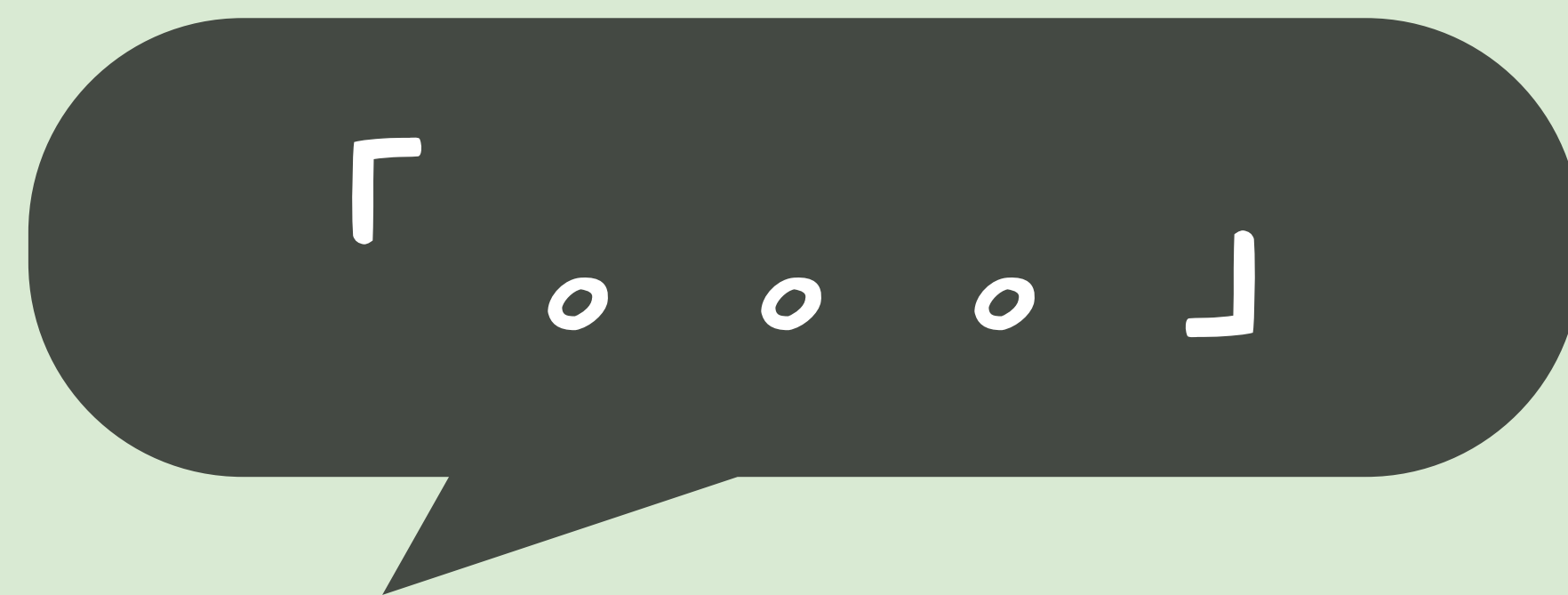
∴ リン = 「恥」



受け入れる (大吉)

リン = 「爺さんの子」  
= 「家族」

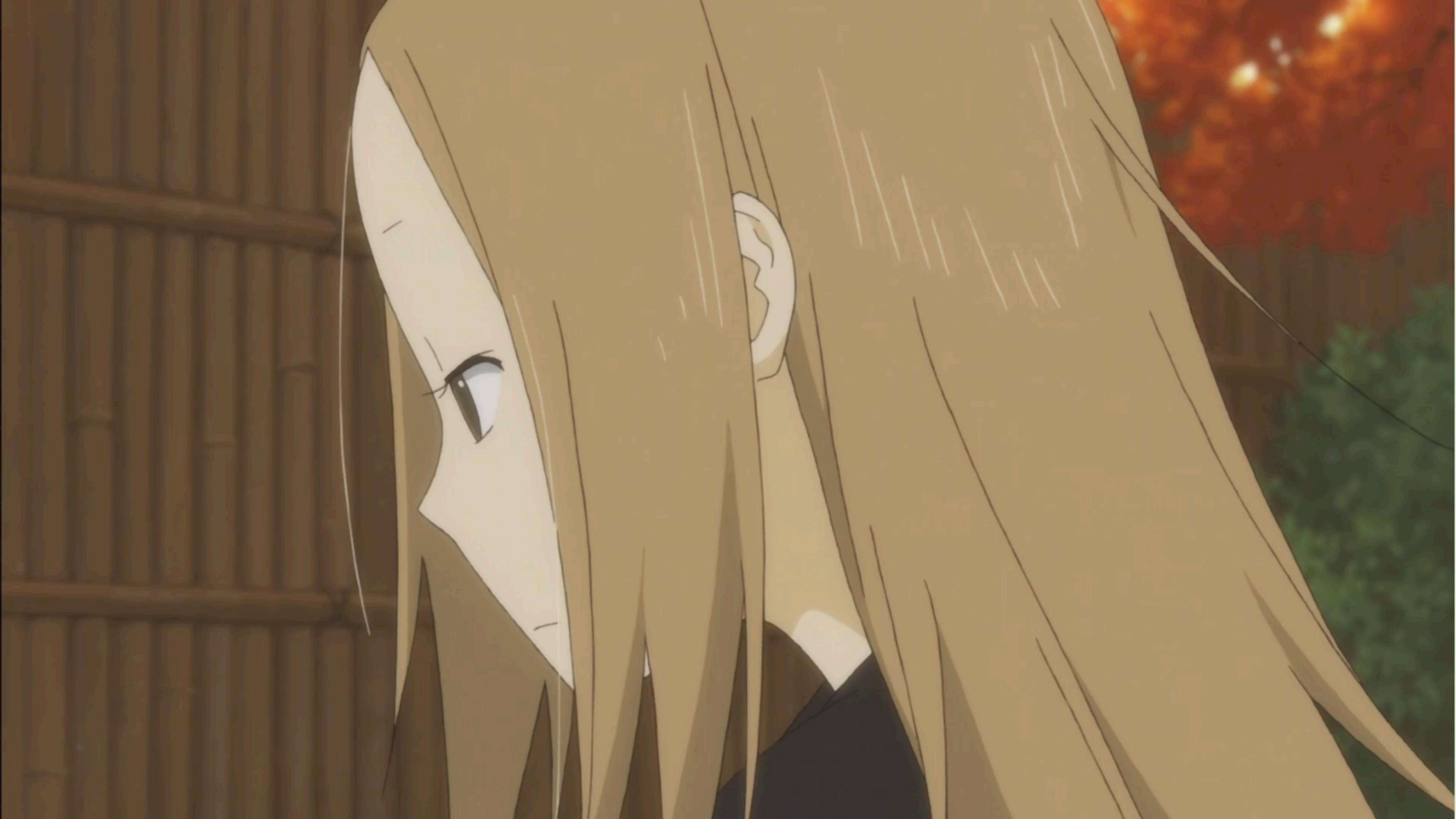
## 2. 集团主義



- 愛昧な表現
- 遠回し

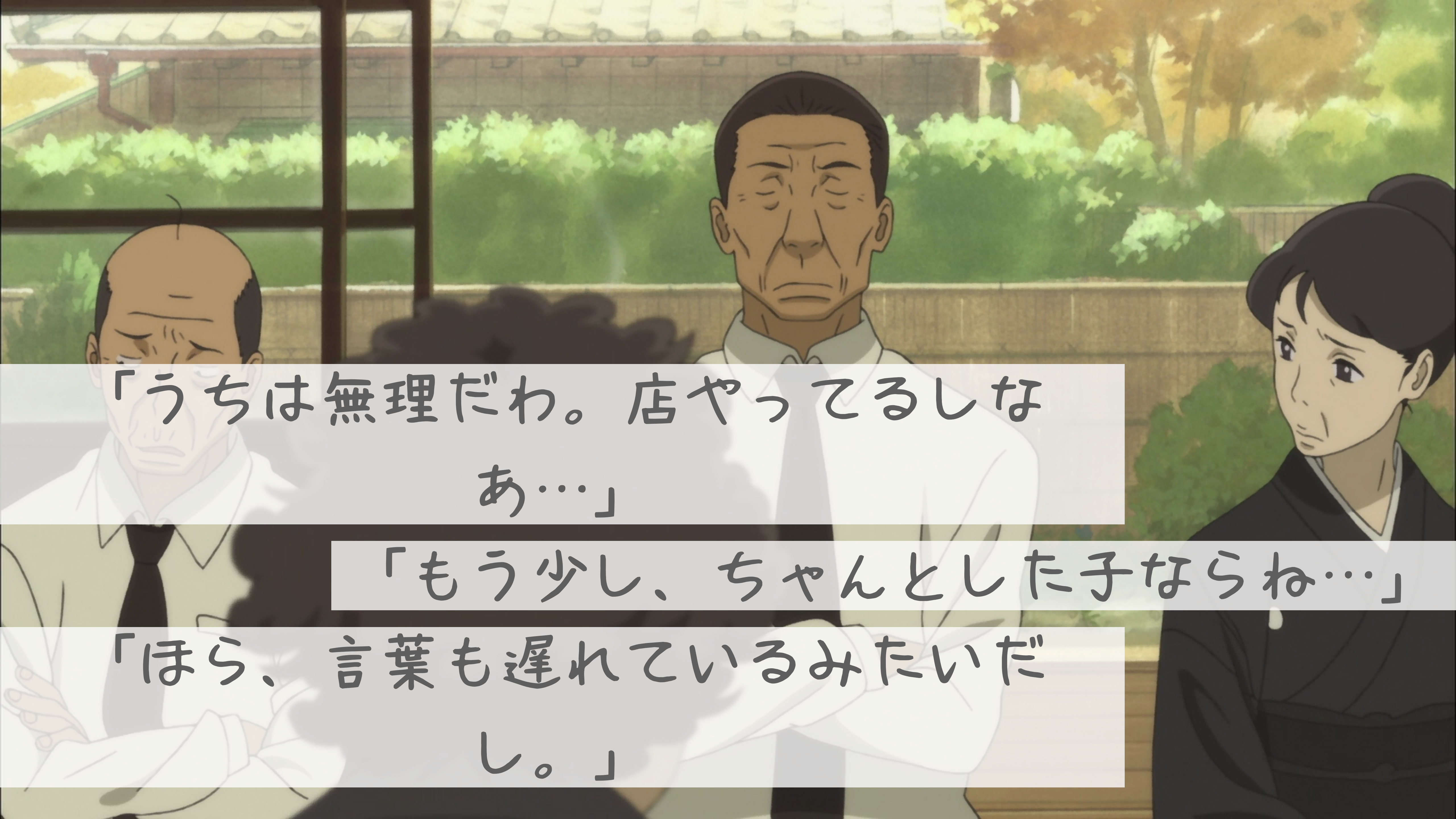


Clip 3 (2:44)



Clip 3 (2:44)





「うちは無理だわ。店やってるしな  
あ…」

「もう少し、ちゃんとした子ならね…」

「ほら、言葉も遅れているみたいだし。」

面倒い…

どうせ他人…

親戚

「私はちょっと。。。」

親戚

||

「預かるのはやだ」

「～なあ…」

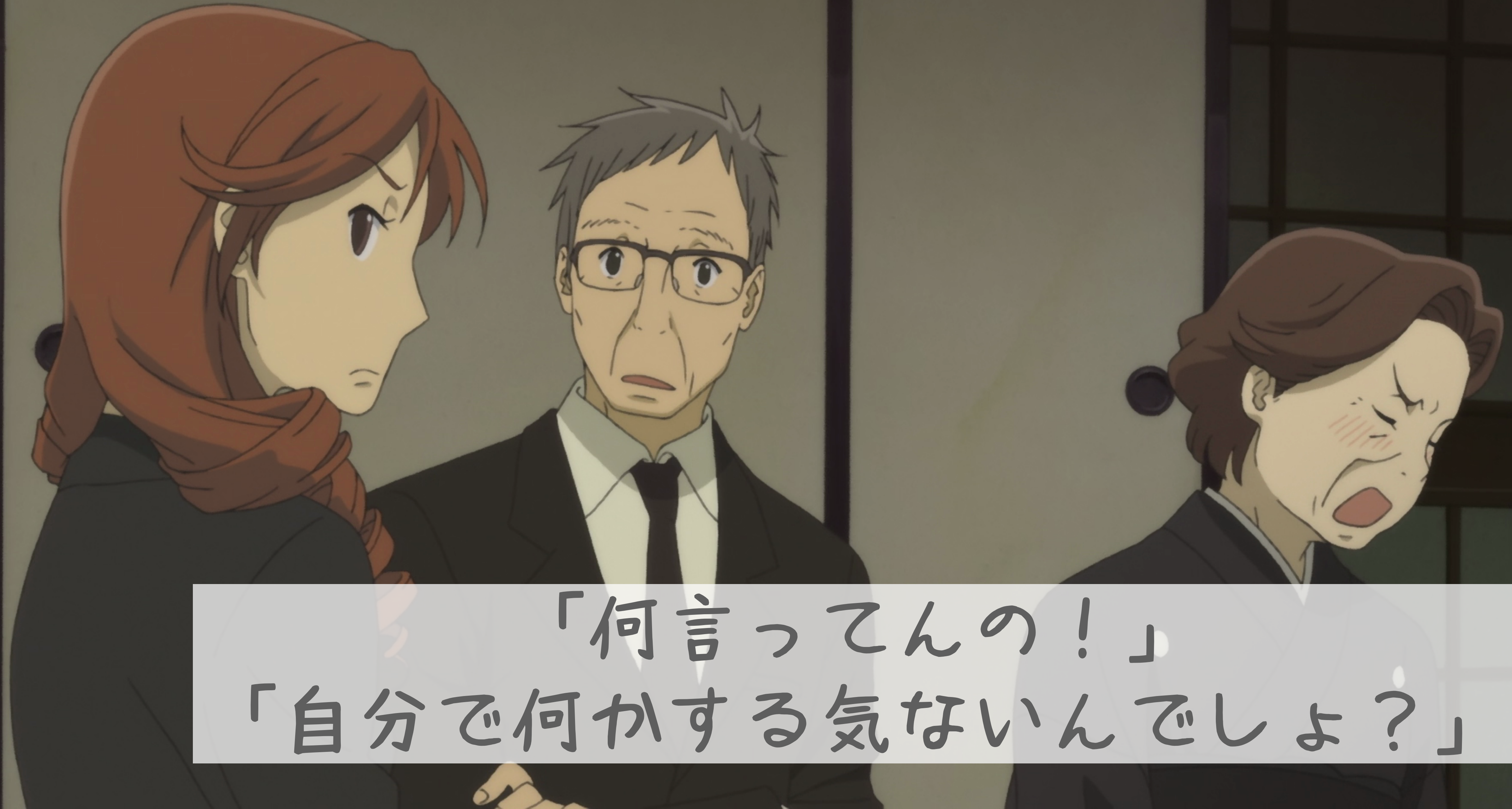
「～ならね…」

「ほら、」

親戚



「母ちゃんさ、うちにいるわけだし、  
しばらく預かってやれないの？」

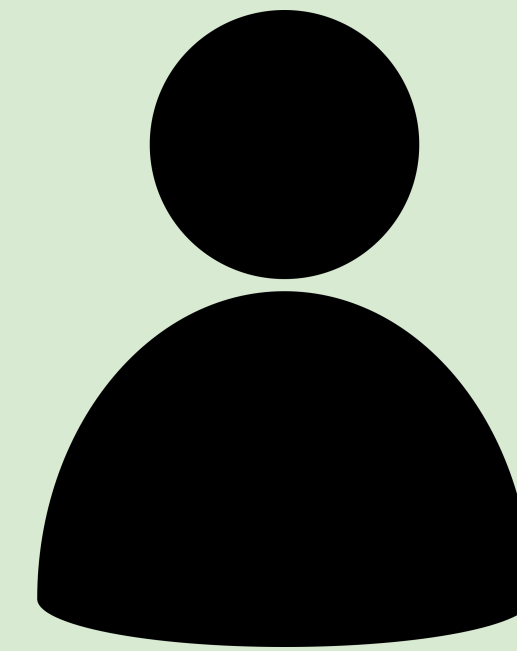


「何言ってんの！」  
「自分で何かする気ないんでしょ？」

何言ってるの!



うちで預かって?





「とりあえず、  
すくなくとも受け入れてくれる施設をあたってみよう」



「~~とりにあえず~~すどにこも受け入れてくれる施設をあたってみよう」

結論 X → 確認



「この話し合いは、  
誰かがリニを預かることじゃなかったのか」

結論 X → 確認

前から結論は出ていた

ただの、みんなの考えの確認



1。内と外

2。集团主義

Clip 4 (0:00)



Clip 4 (0:00)



# いんやろす ミューズ

